

防災の多様性とは？

～ 逃 げ に く い 人 々 ～

災害はいつ起きるかわかりません。誰もが被災者になる可能性があります。
市民・支援者・当事者みなで、お互いを知り、できることを考えてみませんか？



講師紹介

特定非営利活動法人
さぽーとセンターぴあ
代表理事

青田 由幸



2011年3月11日、青田さんは福島第一原発から25kmの南相馬市にある福祉施設「ぴーなつつ」にいました。原発事故の発生後も青田さんとその仲間が現地に残り、取り残された障害者・高齢者を支援し続けました。

災害では逃げたくても逃げられない人々がいる一方で、地域にも力になりたいと思いつつも、どのようにかかわれば良いかわからない方もいます。

南相馬市での教訓をもとに、逃げにくい人々の状況を知り、地域全体でみんなで助けあい、支えあうための取組を色々な立場を超えて、みんなで、一緒に考えてみませんか。



開催日時

2024年11月15日(金)
中央北生涯学習プラザ1階大ホール
2024年11月16日(土)
ベイコム総合体育館研修室

16日は小・中学生作成の防災ポスター展示・表彰(13時30分から)あり

無料
手話通訳・
要約筆記あり

申込方法

講演会は終了しました。

問い合わせ先

尼崎市 重層的支援推進担当課
電話 06-6489-6013 ファックス 06-6489-6952

(主催) NPO法人サニーサイド NPO法人月と風と 尼崎市 (協力) ミーツ・ザ・福祉実行委員会
(後援) 尼崎市社会福祉協議会 兵庫県弁護士会 尼崎市民生児童委員協議会連合会

※本事業は兵庫県のオーダーメイド型研修事業として事業支援を受けて事業を行っています。